

## 特別集会施設に係る業務

### 1 舞台操作等の管理業務

#### (1) 業務内容

ア 利用者との打合せにより、舞台設備、舞台機構装置、照明設備、音響設備、映写設備（以下「舞台設備等」という。）の仕込みを行う。ただし、利用者が行う場合は、これを監督し、必要に応じて指導、助言を行う。

なお、舞台操作盤等の操作で危険を伴うものについては、技術者が直接操作し、他のものには操作させない。

イ 利用者の外部からの持ち込み機材があるときは、その搬入及び搬出に立ち会い、事故のないように配慮する。

ウ 催し物開催中は、客席、舞台等の監視を行い、事故のないように注意すること。また、事故発生時には迅速に対応できるように、日頃から備える。

エ 催し物終了後は、舞台設備等の撤去及び原状復帰を行う。ただし、利用者が行う場合は、これを監督し、必要に応じて指導、助言を行う。

オ 舞台設備、備品等の貸出・返却の際は、数量及び破損の有無を確認する。

カ 利用終了後は、舞台設備等の格納、点検を行うとともに、客席、舞台、楽屋等を巡回して忘れ物及び火気の点検を行う。

キ 円滑な業務運営を図るため業務日誌を作成し、日々の利用状況等を確認する。

ク 舞台設備等を常に良好かつ安全な状態で利用できるよう保守点検、整備及び清掃を行う。

ケ 舞台設備等に付属する備品や消耗品の整備、管理を行う。

コ 利用日の10日から1週間前をめぐり、利用者と事前に打合せを行い、舞台設定、附帯設備の利用について確認する。

サ 利用希望者の事前見学などの利用案内を行うとともに、舞台設備等に関する利用者からの相談に応じる。

#### (2) 技術者の配置

ア 各ホールの開館時間中において、上記の業務を支障なく遂行するために必要な技術者を配置する。ただし、ホール使用時は、原則として舞台操作業務、音響設備操作業務及び照明設備操作業務について、それぞれ1ポスト配置する。

イ 技術者の中から主任技術者（責任者）を1名選任する。

#### (3) 主任技術者の責務

ア 配置した技術者を統括し、業務を円滑に遂行できるよう配慮する。

イ 技術者が作成した舞台業務日誌を確認する。

ウ 主任技術者が不在のときに備えて、技術者の中からあらかじめその職務を代行するものを選任しておく。

(4) 書類の提出

- ア 配置する技術者について、住所、氏名など必要とする事項を記載した書類を小松市に提出する。また、技術者の異動など、その内容に変更があった場合は小松市に報告する。
- イ 技術者の各月の勤務体制について、事前に小松市に提出する。

(5) 業務遂行上の注意

- ア 配置する技術者に対して、ホール利用開始15分前までに業務につくよう指導する。
- イ 配置する技術者に対して、舞台設備等の技術管理に関する調査、研究を行い、業務の向上、改善に努めるよう指導する。
- ウ 配置する技術者に対して、業務従事中は常に服装を清潔にし、名札を着用するよう指導する。特に公共施設であることをわきまえ、施設利用者及び入場者の応対にあたっては、接遇に十分注意し、施設利用者等から批判を受けることがないように努める。

(6) 非常時の対応

- ア 業務遂行中に事故及び施設の破損や盗難などが発生した場合は、技術者は直ちに主任技術者に報告し、その指示を受けて最善の措置をとる。ただし緊急の場合は、応急措置をとったうえで、主任技術者に報告する。
- イ 報告を受けた主任技術者は、速やかに小松市に報告し、必要な協議を行う。

(7) 消防訓練への参加

技術者は、消防計画に基づく消防訓練に参加するとともに、万一の災害発生時に適切な措置ができるよう、日頃から備える。

(8) その他

この業務内容詳細に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、小松市と協議のうえ決定する。

## 2 舞台機構装置保守業務

(1) 業務内容及び留意事項

- ア 舞台電動昇降装置、手動装置等の各種が、常に正常かつ安全に操作し得るよう誠意をもって実施する。
- イ 保守点検の実施に当たっては、ホールの業務に支障のないよう計画的に行う。
- ウ 業務に従事するものは、保守に関する知識及び技術を有するものとする。
- エ 指定管理者は、保守業務に必要な消耗品（油・ウエス・グリース・諸工具類）の一切を負担する。
- オ 故障が生じたときは、速やかに点検、調整、応急措置を行う。この場合、部品交換を必要とするときは小松市と協議のうえ処置する。
- カ 保守点検作業中に、故意又は過失により機器類に損傷を与えた場合には、直ちに小松市に連絡したのち修理を行う。
- キ 内容に疑義が生じた場合は、小松市と協議のうえ処理する。

## (2) 保守点検

各ホールにおける保守点検の内容は、次のとおり。

ア 実施回数は、年1回以上とする。

イ 保守点検の対象品目及び点検項目は、下記のとおり。

### 舞台機構装置保守業務の対象品目・点検項目

対象品目	点 検 項 目
捲 上 機	ウォームギヤーの歯当たり，溝車の溝の摩擦，グラント部分の加熱と油漏れ，スライトベアリングの過熱，ギヤーケース内の油量と劣化，運転中の音響
電 動 機	軸受けの温度上昇，音響，絶縁抵抗の良否
電磁ブレーキ	ブランジャーの作動，ブレーキシューの摩擦，ブレーキレバーの作動状態
制 御 盤	ヒューズ及びブレーカーの点検，コンタクターの接触摩擦，配線の弛み，絶縁抵抗の良否，パイロットランプの良否，CPU関連の作動確認
操 作 卓	コンタクターの接触，配線の弛み，絶縁抵抗の良否，パイロットランプの良否
各リミットスイッチ	正しく作動するか否か，配線の弛み，絶縁抵抗の良否
滑 車	油又はグリスが適量に注油されているか否か，騒音の有無，シャフトの磨耗
ロ ー プ	ロープ止め又は物衡を調べる，素線の磨耗
ガイドレール	摺面継目部分レールクリップ，注油の状態（主としてグリースにて行う）
音響反射板	天寿反射板変角モーターの温度上昇，音響，側面のシャフト磨耗，走行用チェーン及び滑車の磨耗，傾き
幕	開閉装置の磨耗

### 大ホール

対 象 品 目	数量	備 考
緞帳	1 枚	電動
しぼり緞帳	1 枚	電動
暗転幕	1 枚	手動
中 割 幕	1 枚	手動，開閉手動
袖 幕	3 対	手動

バック幕	1 枚	手動，開閉手動
ホリゾント幕	1 枚	手動
ボーダーライト	3 列	手動，一文字幕と共吊
サスペンションライト	3 列	電動，2 サスはスクリーン共吊
アッパーホリゾントライト	1 列	手動
美術バトン	1 1 本	手動
天井反射板（前吊・後吊）	2 台	電動
側面反射板（上手・下手）	2 台	電動
正面反射板	1 台	電動

#### 小ホール

対 象 品 目	数 量	備 考
しぼり緞帳	1 枚	電動
袖 幕	3 枚	固定
バック幕	1 枚	固定，開閉電動
スクリーン	1 枚	電動
ボーダーライト	1 列	固定
サスペンションライト	1 列	固定
アッパーホリゾントライト	1 列	手動
美術バトン	2 本	手動 1 本，電動 1 本

#### 舞台機構装置保守業務の機器別点検項目

点 検 箇 所		点 検 項 目
捲上機関係	電 動 機	清掃点検，運転作動テスト
	減 速 機	清掃点検，運転作動テスト，油量及び油漏れの確認
	電磁ブレーキ	清掃点検，作動テスト調整
	リミットスイッチ	点検，作動テスト調整，スプロケット増縮
	保安スイッチ	点検，作動確認
	制 御 盤	点検，リレー類開閉テスト，接点目視点検
	操 作 盤	点検，操作テスト，表示灯点検確認
昇降装置 関 係	枝 車	清掃点検，取付状態確認
	方向変車	清掃点検，取付状態確認
	受車（押車）	清掃点検，取付状態確認

	ワイヤー関係	点検，取付状態確認
	バ ト ン	清掃点検，レベル確認及び調整
	クリップ	点検，ターンバックル確認及び調整
反 射 板		セット確認
開 閉 幕		開閉テスト調整，舞台面レベル確認及び調整

#### 舞台機構装置保守業務の作業別点検項目

作 業	点 検 項 目
作動，機能点検	・各装置の作動状況及び機能の不具合の有無を確認
整備，調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各吊物装置のレベル調整，リミット調整，水平バランス調整，引ひも調整</li> <li>・捲上機の調整・清掃，vベルト及びチェーン等の張り調整，ブレーキ調整等必要箇所の調整</li> <li>・各装置の必要箇所にオイルの補充，グリスの塗布，注油</li> </ul>
消耗，磨耗点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑車類，ワイヤーロープ，引ひも，Vベルト，ギア，チェーン等磨耗部分の磨耗状況及び油漏れの有無</li> <li>・電気機器の性能低下及び表示ランプの球切れ有無</li> </ul>
その他の安全確認	・ワイヤーロープの結束部分の処理，滑車類の状態，突き上げ防止スイッチ等安全装置の作動を点検し，安全を確認

### 3 舞台音響設備保守業務

#### (1) 業務内容及び留意事項

- ア 舞台音響設備システムの各種が，常に正常かつ安全に操作し得るよう誠意をもって実施する。
- イ 保守点検の実施に当たっては，ホール業務に支障のないよう計画的に行う。
- ウ 業務に従事するものは，保守に関する知識及び技術を有するものとする。
- エ 指定管理者は，保守業務に必要な消耗品の一切を負担する。
- オ 故障が生じたときは，速やかに点検，調整，応急措置を行う。この場合，部品交換を必要とするときは小松市と協議のうえ処置する。
- カ 保守点検作業中に，故意又は過失により機器類に損傷を与えた場合には，直ちに小松市に連絡したのち修理を行う。
- キ 内容に疑義が生じた場合は，小松市と協議のうえ処理する。

#### (2) 保守点検

各ホールにおける保守点検の内容は，次のとおり。

- ア 実施回数は，年1回以上とする。

イ 保守点検の対象品目および項目は、下記のとおり。

舞台音響設備の対象品目

対 象 品 目	数 量	備 考
CDプレーヤー	2	
MDレコーダー	2	
カセットデッキ	2	
グラフィクイコライザー	3 2	大ホール 小ホール
コンプレッサー／リミット	2 1	大ホール 小ホール
残響附加装置	1	
パワーアンプ	10 4	大ホール 小ホール
ワイヤレスチューナー	4 4	大ホール 小ホール
ワイヤレス混合分配器	1 1	大ホール 小ホール
開演ブザーユニット	1 1	大ホール 小ホール
音響調整卓	2 1	大ホール 小ホール
パッチ盤	1 1	大ホール 小ホール
主電源ユニット	1 1	大ホール 小ホール
マイクロホン	5 6	ダイナミック コンデンサー
ワイヤレスマイクロホン	4 4	タイピン型 (各大ホール4 ハンド型 小ホール4)
インカム・ヘッドセット	8 8	子機 ヘッドセット
スピーカー	5 1	モニター (大ホール) プロセニアム (大ホール)

	2	サイド（大ホール）
	8	ステージ（大ホール）
	1 6	天井埋込（大ホール）
	1 7	壁かけ（大ホール）
	2	ステージ（小ホール）
	2	モニター（小ホール）
	2	ハネ返り（小ホール）
	1 2	天井（小ホール）

舞台音響設備の点検項目

対 象 品 目	点 検 項 目
CDプレーヤー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観清掃</li> <li>・ 機器取付状態及び接続ケーブル結線状態の確認</li> <li>・ 操作スイッチ駆動による動作確認及びボリューム可変による動作確認</li> <li>・ 機器操作による表示の確認</li> <li>・ 聴感による再生確認</li> </ul>
MDレコーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観清掃</li> <li>・ 機器取付状態及び接続ケーブル結線状態の確認</li> <li>・ 操作スイッチ駆動による動作確認及びボリューム可変による動作確認</li> <li>・ 機器操作による表示の確認</li> <li>・ 聴感による自己録再生確認</li> </ul>
カセットデッキ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観清掃</li> <li>・ 機器取付状態及び接続ケーブル結線状態の確認</li> <li>・ 操作スイッチ駆動による動作確認及びボリューム可変による動作確認</li> <li>・ 機器操作による表示の確認</li> <li>・ 聴感による自己録再生確認</li> </ul>
グラフィック イコライザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・ 接続状態の確認</li> <li>・ 落下等の恐れがないか、機器取付状態の確認</li> <li>・ E Qスイッチの ON／OFF で、イコライザーの効果を確認</li> <li>・ ゲインボリューム等を回し、ガリ無く変化するものの確認</li> <li>・ 各表示の確認</li> </ul>

スピーカー 出力リモコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・接続状態の確認</li> <li>・固定用ねじが緩んでいないか確認(落下しないこと)</li> <li>・各スピーカースイッチの ON/OFF で、ランプ表示が点灯／消灯することの確認</li> <li>・各スピーカースイッチの ON/OFF で、スピーカー音が ON/OFF するか確認</li> </ul>
コンプレッサー リミッター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・固定用ねじが緩んでいないか確認(落下しないこと)</li> <li>・接続状態の確認</li> <li>・各スイッチ操作によりその効果を確認</li> <li>・各ボリュームを回し、その効果を確認</li> <li>・各スイッチにリンクしてランプ表示することの確認</li> </ul>
デジタル ディレーライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・落下等の恐れがないか、機器取付状態の確認</li> <li>・コネクタの接続不良がないか確認、接続の確認</li> <li>・メモリーを呼び出し、液晶に表示されることの確認</li> <li>・遅延時間を変化（0～1300ms）させたとき、聴感上遅延時間が変わる事の確認</li> <li>・音質に異常がないことの確認</li> </ul>
残響附加装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・落下等の恐れがないか、機器取付状態の確認</li> <li>・コネクタの接触不良がないか確認、接続の確認</li> <li>・各スイッチ・ボリューム操作により機能確認（遅延機能，エコー機能等）</li> <li>・スイッチの操作に連動して、ランプ表示をするかの確認</li> <li>・各設定を変え、聴感上信号に問題がないことの確認</li> </ul>
パワーアンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・ねじの緩みがないか、落下等の恐れがないかの確認</li> <li>・コネクタの接触不良がないか確認、接続の確認</li> <li>・電源スイッチを入れ、電源ランプが点灯することの確認</li> <li>・通電直後プロテクト LED が点灯し、数秒で切れる事の確認</li> <li>・ボリュームを回し、ガリが発生しない事の確認</li> <li>・信号を入力し、レベルに応じて LED が点灯することの確認</li> </ul>
ワイヤレス チューナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・落下等の恐れがないか、機器取付状態の確認</li> <li>・アンテナ及び信号コネクタの緩みがない事の確認</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンネル表示は設定通りか確認</li> <li>・信号を受信したとき，シグナル LED が点灯することを確認</li> <li>・ワイヤレスマイク音声に応じて，サウンド LED が動作することの確認</li> <li>・音質に問題がないことの確認</li> </ul>
ワイヤレス 混合分配器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・落下等の恐れがないか，機器取付状態の確認</li> <li>・アンテナコネクタの緩みがないことの確認</li> <li>・電源及びファンタム電源表示 LED が点灯することの確認</li> </ul>
開演ブザー ユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観清掃（汚れや塵埃がないこと）</li> <li>・落下等の恐れがないか，機器取付状態の確認</li> <li>・ブザー音がでることを確認</li> </ul>
音響調整卓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエス及び刷毛を使用しての外観の清掃</li> <li>・モジュールを卓から取り出し，フェーダー内部を綿棒とアルコールで清掃</li> <li>・モジュールを元に戻す</li> <li>・スイッチを押し，LED が点灯し，同時にスイッチの機能が働くことを確認</li> <li>・各ボリュームを回し，ガリがないことを確認</li> <li>・各モジュールについて，上記同様に実施</li> <li>・オシレーター信号を出力し，VU メーターの動作を確認</li> <li>・カセットテープ等を再生し，モニタースピーカー及びヘッドフォン動作を確認</li> </ul>
パッチ盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付がネジにより確実に固定され，落下の恐れがないことを確認</li> <li>・パッチ盤～ライン間の絶縁抵抗を測定（計測器使用）</li> <li>・パッチ盤～ライン間の導通試験を実施（計測器使用）</li> <li>・上記測定及び試験を全コネクタについて実施</li> </ul>
主電源ユニット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付が確実に固定され，落下の恐れがないことを確認</li> <li>・ブレーカースイッチ ON/OFF し，AC アウトレットに電圧が出る／切れることを確認</li> <li>・各機器の AC コンセントが確実に接続されているかを確認</li> <li>・測定器（絶縁計）を使用して，絶縁抵抗を測定</li> </ul>
マイクロホン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観の確認（傷，ガタのないこと）</li> <li>・コネクタの確認（緩み，破損のないこと）</li> <li>・スイッチ動作の確認（速やかな動作，ノイズのないこと）</li> <li>・音の確認（ノイズ，歪のないこと）</li> </ul>

ワイヤレスマイクロホン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観の確認（傷，ガタのないこと）</li> <li>・スイッチ ON にて LED が点灯することの確認</li> <li>・スイッチ ON/OFF にしたときに，ノイズが出ないことを確認</li> <li>・ホール内において，音の途切れがないことを確認</li> </ul>
スピーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚損，へこみ及び破損がないことを確認</li> <li>・ワイヤー固定，ボルトの緩みがなく，落下の恐れが生じないことを確認</li> <li>・スピーカーケーブルの接続が確実なことを確認</li> <li>・音を出し，歪やビリツキがないことを確認</li> </ul>
インカム ヘッドセット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置，取付状態の確認</li> <li>・コールボタン及びコールランプの動作正常を確認</li> <li>・音量ボリュームによるスピーカー音量変化を確認</li> <li>・音質に問題がないことを確認</li> <li>・A/B 両チャンネルを実施</li> </ul>

#### 4 舞台照明設備保守業務

##### （１）業務内容及び留意事項

- ア 舞台照明設備が，常に正常かつ安全に操作し得るよう誠意をもって実施する。
- イ 保守点検の実施に当たっては，ホールの業務に支障のないよう計画的に行う。
- ウ 業務に従事するものは，保守に関する知識及び技術を有するものとする。
- エ 指定管理者は，保守業務に必要な消耗品の一切を負担する。
- オ 故障が生じたときは，速やかに点検，調整，応急措置を行う。この場合，部品交換を必要とするときは小松市と協議のうえ処置する。
- カ 保守点検作業中に，故意又は過失により機器類に損傷を与えた場合には，直ちに小松市に連絡したのち修理を行う。
- キ 内容に疑義が生じた場合は，小松市と協議のうえ処理する。

##### （２）保守点検

各ホールにおける保守点検の内容は，次のとおり

###### ア 調光装置点検

- a 実施回数は，年１回以上とする。
- b 保守点検の対象品目及び点検項目は，下記のとおり。

###### イ 照明器具点検

- a 実施回数は，年１回以上とする。
- b 保守点検の対象品目及び点検項目は，下記のとおり。

調光装置の対象品目・点検項目

対象品目	数 量	点 検 項 目
調光 (制御等) 盤  主 幹 盤 調 光 器 盤 制 御 盤 切 替 盤	7 面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・据付及び壁等取付ボルトの緩み(緩みのある場合は増締めする)</li> <li>・異常音及び異常振動の有無</li> <li>・スイッチ類及び表示部の機能確認</li> <li>・コネクター類差し込み部及び端子部の緩み(緩みのある場合は清掃を実施)</li> <li>・汚れ、損傷及び錆の確認(汚れがある場合は清掃を実施)</li> <li>・異臭及び変色の確認</li> </ul>
調光ユニット (調光盤内)	1 9 2 台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源電圧の確認 入力電圧(各相間) 直流電源出力電圧 ユニット信号電圧 (100%点灯時客席) 調光ユニット出力電圧</li> <li>・絶縁抵抗値の測定 調光装置導体の各相間と大地間 負荷側配線の各相間と大地間</li> </ul>
電子クロスバー卓	1 台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音及び異常振動の有無</li> <li>・ハンダ付けの箇所の接続状況(外れ等ある場合はハンダ付けを実施)</li> <li>・スイッチ類及び表示部の機能確認</li> <li>・コネクター類差し込み部の緩み(緩みのある場合は増締めする)</li> <li>・スイッチ類及び表示部の機能確認</li> <li>・汚れ、損傷及び錆の確認(汚れがある場合は清掃を実施)</li> </ul>
舞台袖操作器	1 0 フェーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音及び異常振動の有無</li> <li>・ハンダ付けの箇所の接続状況(外れ等ある場合はハンダ付けを実施)</li> <li>・コネクター類差し込み部及び端子部の緩み(緩みのある場合は増締めする)</li> <li>・スイッチ類及び表示部の機能確認</li> <li>・各部及び各機能の動作確認</li> <li>・汚れ、損傷及び錆の確認(汚れがある場合は清掃を実施)</li> <li>・異臭及び変色の確認</li> </ul>

照明器具の対象品目・点検項目

対象品目	数 量	点 検 項 目
ボーダーライト (ジョイント ボックス)	3 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付ボルト，端子部の緩み及び腐食（緩みのある場合は増締めする）</li> <li>・異臭及び変色の確認</li> <li>・コンセント及びコネクタの変形，ひび割れ，破損等の確認</li> <li>・汚れ，損傷及び錆の確認（汚れがある場合は清掃を実施）</li> <li>・通電状況</li> <li>・ケーブルの外観状況</li> <li>・絶縁抵抗値の測定 各相間と大地間</li> </ul>
アッパー Horizontライト (ジョイント ボックス)	1 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付ボルト，端子部の緩み及び腐食（緩みのある場合は増締めする）</li> <li>・異臭及び変色の確認</li> <li>・コンセント及びコネクタの変形，ひび割れ，破損等の確認</li> <li>・汚れ，損傷及び錆の確認（汚れがある場合は清掃を実施）</li> <li>・通電状況</li> <li>・ケーブルの外観状況</li> <li>・絶縁抵抗値の測定 各相間と大地間</li> </ul>
サスペンション フライダクト (ジョイント ボックス)	3 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付ボルト，端子部の緩み及び腐食（緩みのある場合は増締めする）</li> <li>・異臭及び変色の確認</li> <li>・コンセント及びコネクタの変形，ひび割れ，破損等の確認</li> <li>・汚れ，損傷及び錆の確認（汚れがある場合は清掃を実施）</li> <li>・通電状況</li> <li>・ケーブルの外観状況</li> <li>・絶縁抵抗値の測定 各相間と大地間</li> </ul>
クセノンピン スポットライト (整流器付・ 2 KW)	2 台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取付ボルト（含キャスター），端子部の緩み及び腐食（緩みのある場合は増締めする）</li> <li>・ミラー・レンズ等の汚損，損傷等（汚れがある場合は清掃を実施）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・異臭及び変色の確認</li> <li>・コンセントの変形，ひび割れ，破損等の確認</li> <li>・各部及び各機能の動作確認</li> <li>・灯体の点灯，投光試験</li> <li>・絶縁抵抗値の測定</li> <li>・整流器の点検</li> </ul> <p>入出力電圧 負荷及び無負荷電圧 端子部の緩み確認（緩みのある場合は増締めする） 電流値</p>
--	--	--

なお，接続された各種灯具については，絶縁抵抗試験を行うものとする。

## 5 ピアノ保守点検業務

### （１）業務内容及び留意事項

- ア ピアノの演奏機能が，より良い状態に維持されるよう誠意をもって実施する。
- イ 保守点検の実施に当たっては，ホール業務に支障のないよう計画的に行う。
- ウ 業務に従事するものは，保守に関する知識及び技術を有するものとする。
- エ 指定管理者は，保守業務に必要な消耗品の一切を負担する。
- オ 故障が生じたときは，速やかに点検，調整，応急措置を行う。この場合，部品交換を必要とするときは小松市と協議のうえ処置する。
- カ 保守点検作業中に，故意又は過失により機器類に損傷を与えた場合には，直ちに小松市に連絡したのち修理を行う。
- キ 内容に疑義が生じた場合は，小松市と協議のうえ処理する。

### （２）保守点検

- ア 実施回数は，年１回以上とする。
- イ 保守点検の対象品目および項目は，下記のとおり。

#### ピアノ保守点検業務の対象品目

対 象 品 目	数 量
スタインウェイ D型 ※2025 年 3 月 ヤマハ CFⅢと入替を予定	1 台
ヤマハ C3	2 台

ピアノ保守点検業務の点検項目

点 検 項 目	点 検 項 目
鍵盤調整	鍵盤の深さ調整
鍵盤の高さ調整	ハンマードロップの調整
弦合わせ	バックチェックの調整
ウイッペン合わせ	レペティションスプリングの調整
打弦距離調整	ダンパー調整
ジャック前後調整	ペダルの調整
ジャック上下調整	調 律
ハンマーの接近量の調整	整 音

6 映写機及び映写機器関連保守業務

(1) 業務内容及び留意事項

- ア 映写機及び映写関連機器が、常に正常かつ安全に操作し得るよう誠意をもって実施する。
- イ 保守点検の実施に当たっては、ホールの業務に支障のないよう計画的に行う。
- ウ 業務に従事するものは、保守に関する知識及び技術を有するものとする。
- エ 指定管理者は、保守業務に必要な消耗品の一切を負担する。
- オ 故障が生じたときは、速やかに点検、調整、応急措置を行う。この場合、部品交換を必要とするときは小松市と協議のうえ処置する。
- カ 保守点検作業中に、故意又は過失により機器類に損傷を与えた場合には、直ちに小松市に連絡したのち修理を行う。
- キ 内容に疑義が生じた場合は、小松市と協議のうえ処理する。

(2) 保守点検

保守点検の対象品目および項目は下記のとおり。

映写機及び映写機器関連保守業務の対象品目

対 象 品 目	数 量
16ミリ映写機	2 台
プロジェクター	1 台
スライド映写機	1 台

映写機及び映写機器関連保守業務の点検項目

対 象 品 目	点 検 項 目
16ミリ映写機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ローラー及びサウンドドラムの清掃及び調整</li> <li>・スプロケットの押さえの点検調整</li> <li>・映写レンズの点検及び清掃調整</li> <li>・スプロケットの歯型の点検調整</li> <li>・カムクロームのツメの点検調整</li> <li>・エキサターランプ，レンズの点検調整</li> <li>・映写窓部の点検（各プレート部分も含む）</li> <li>・クセノンランプの点灯確認</li> <li>・クセノンランプの焦点調整</li> <li>・防熱ガラスの点検及び清掃</li> <li>・空転検査（機械の回転音，音響の再生部の雑音）</li> <li>・テストフィルムによる損傷検査</li> <li>・テストフィルムによる給送状態</li> <li>・テストフィルムによる画面の流れ検査</li> <li>・テストフィルムによる画面の動揺検査</li> <li>・テストフィルムによる音声出力，音質検査</li> <li>・その他総合点検</li> </ul>
プロジェクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・各種機能の動作確認</li> <li>・映写レンズの点検及び清掃調整</li> <li>・クセノンランプの点灯調整</li> <li>・その他総合点検，清掃</li> </ul>
スライド映写機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・その他総合点検，清掃</li> </ul>